

第 19 回 自動車安全シンポジウムの開催について

➤ 自動車安全シンポジウム開催概要

国土交通省では、交通事故の現状を踏まえた車両安全対策について、一般ユーザー等の皆様にご理解頂くとともに、ご意見を伺うために、平成 12 年度より毎年、自動車安全シンポジウムを開催しており、平成 25 年からは、一般の参加者を対象とした企画と自動車産業の関係者を対象とした企画を隔年で開催しているところ。

第 19 回は、自動車技術会「人とくるまのテクノロジー展 2018 横浜」の開催期間に合わせ、自動車産業の関係者を対象とし、下記の企画で開催することとする。

○テーマ

自動運転の実現に向けた今後の車両安全対策のあり方について

○開催主旨

- ・ 我が国の交通事故死者数は近年減少傾向にあり、平成 29 年には警察庁が保有する昭和 23 年以降の統計で最少となったものの、依然として 3,694 人の方が亡くなるなど深刻な状況にある。このような状況の中で、近年開発が進められている自動運転は、交通事故の削減のみならず、渋滞の緩和や運転者の運転負担の低減、高齢者の移動手段の確保、ドライバー不足の解消のための生産性の向上等の様々な社会的課題の解決に資することが期待されている。これらを踏まえ、本シンポジウムでは、安全確保を前提とした自動運転の早期実用化に向けた今後の車両安全対策のあり方について、様々な有識者を招いて講演及びパネル討論形式により説明を行う。
- ・ 第 1 部【基調講演】では、自動運転の実現に向けた政府全体の取組み及び国土交通省による車両安全対策の実施状況や、自動車メーカーによる自動運転技術の開発動向に関し、講演を行う。
- ・ 第 2 部【パネルディスカッション】では、第 1 部の基調講演を踏まえ、自動運転技術の実現に向けた今後の車両安全対策の方向性について、幅広い視点で議論を深める。

○開催時期： 平成 30 年 5 月 23 日（水）
（自動車技術会「人とくるまのテクノロジー展 2018 横浜」の開催期間中）

○開催場所： パシフィコ横浜

○参加者数： 500 名程度

➤ シンポジウムの構成案

【第1部】基調講演

- ①自動運転の実現に向けた政府全体の取組みについて
八山 幸司 （内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室 参事官）
- ②自動運転の実現に向けた車両安全対策の実施状況について
佐橋 真人 （国土交通省自動車局 自動運転戦略室長）
- ③自動運転技術に関する最近の開発動向について
横山 利夫 （一般社団法人 日本自動車工業会 自動運転検討会主査）

【第2部】パネルディスカッション

司会：

室山 哲也 （日本科学技術ジャーナリスト会議副会長）

パネリスト：

鎌田 実 （東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授）
清水 和夫 （モータージャーナリスト）
森山 みずほ （モータージャーナリスト）
横山 利夫 （一般社団法人 日本自動車工業会 自動運転検討会主査）
八山 幸司 （内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室 参事官）
佐橋 真人 （国土交通省自動車局 自動運転戦略室長）

➤ 参考：過去5年のタイトル

- 第14回(2013)「いのちを守るクルマの今～知っておきたい安全技術とその使い方～」
- 第15回(2014)「国際社会における自動車安全戦略と国際基準調和」
- 第16回(2015)「交通安全のための予防安全技術～これからの車両安全対策のなかで～」
- 第17回(2016)「交通事故のない社会を目指した今後の車両安全対策のあり方について」
- 第18回(2017)「高齢運転者による交通事故防止対策について～自動車の安全性向上に向けた取組み～」

以上